

緑化だより

No.188 令和4年11月号



紅葉のトンネル

- 季節の花(をぎ(荻))
- 水生昆虫の話
(エルモンヒラタカゲロウ)
- 小さな世界こけ(アオシノブゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

11月は休園日なし

ryokka 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

オギ(をぎ) 荻

「神風(かむかぜ)の伊勢の浜荻(はまをぎ)折(を)り伏せて

旅宿(たびね)やすらむ荒き浜辺に

碁壇越(ごのだんをち) 万葉集 巻4-500

これを訳しますと

(荒々しい神風が、じかに吹き付ける伊勢(三重県)の国、その土地を旅する我が夫は浜辺の岸に生えている荻(オギ)で敷物を作って、今夜は寒空に旅寝をしているのだろうか、どうかご無事で。)

万葉の時代には湿原、河川の岸辺などのいたるところに荻の群生が見られ、当時の人々には、なじみのある草でした。オギの生えている風情を愛でながら感傷に更けて詠われています。

オギ(荻)はイネ科ススキ属で河原や水辺に生える多年草です。別名はネザメグサ、カゼヒキグサといえます。面白い名ですが、多分「万葉集」にあるこの歌に由来するのでしょう。

北海道、四国、九州に自生し、朝鮮半島南部、中国大陸にも分布しています。

オギは海辺や河川の岸辺の湿地に群生し、草丈 1~2.5m で茎はかたくて節があり、新芽には毛があります。

9~10 月頃に 25~40 cmほどの穂を出します。ススキによく似ていますが、オギは地下茎を伸ばし、1本ずつ茎をのびして大群落をつくるために、株立ちしません。ススキが生える乾燥した場所には生育しません。ヨシよりは乾燥した場所を好みます。

秋にはススキに似た花穂を出しますが、ススキよりも大形で、はじめは淡紫の花穂で、晩秋に熟すと銀白色に変わります。毛が長く生えて、ふわふわして太陽にきらきらと輝いて風情有ります。ルーペで観察すると、ススキの花には中央から突き出た芒(ボウ)がありますが、オギにはありません。

広島市付近では、太田川の川岸に群生しているのが見られます。オギは昔、茅葺(かやぶき)屋根の材料に広く利用していました。(上村)



オギの群落



太田川川岸のオギ

水生昆虫の話

エルモンヒラタカゲロウ

ヒラタカゲロウたちの羽化もそろそろ終わりを迎える 11 月となりました。

今年の冬は寒くなりそうとか、春に杉の花粉が 2 倍くらい飛びそうな予報が出ておりますが、川の中の様子はどうなるのでしょうか。

10 月には、ユミモンヒラタカゲロウをご紹介しましたが、今回は同じヒラタカゲロウの仲間、広島の溪流や中流域で割とよく出会うことのできる「エルモンヒラタカゲロウ」をご紹介します。

エルモンヒラタカゲロウは、終齢幼虫は約 10~15mm 近くまで大きくなります。

生息場所は、緑化センターの細いリ川をはじめ、河川の中流から上流域の比較的流れが速い平地溪流ですが、水がきれいであれば下流部でも見つかることがあるようです。

礫や小石の表面をチョロチョロと動きまわるので、溪流釣りをされる方からは、チョロとかチョロ虫と

呼ばれて、溪流釣りのエサとしても親しまれています。
幼虫は石礫の表面に付着する藻類を削ぎ取って食べ、何
度か脱皮を繰り返す、4月～晩秋にかけて水中羽化します。
成虫の翅の根元にローマ字の「L」の模様が出ることからこ
の名前が付いたそうです。

私も今年の夏は、このエルモンヒラタカゲロウをタナゴ針
にひっかけて、ゴリ(カワヨシノボリ)の前にそつと落とし、ゴリ
釣りを楽しみました。魚の動きを観察しながら合わせ釣りが
出来るので、川の釣りに興味のある方は、ぜひチャレンジし
てみてください。カワヨシノボリは甘露煮以外に天ぷらにして
も美味しいです。

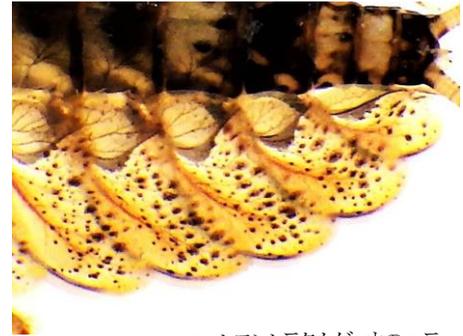
さて、この「チョロ」ことヒラタカゲロウ属のエルモンヒラタカゲ
ロウの幼虫を、他のヒラタカゲロウ属と見分けるポイントは、葉
状エラ(鰓葉)の斑点になります。エラの半分以上に大小さま
ざまな黒褐色の斑点が散在していれば本種となります。

エラに黒斑を有する国産ヒラタカゲロウは、他に、タニヒラタ
カゲロウ、マツムラヒラタカゲロウの3種がいます。

タニヒラタカゲロウは葉状エラの斑点の大きさが外縁部に沿って均一に点在することで区別する
ことが出来ますが、マツムラヒラタカゲロウは、エラの斑点も同じで羽化期も被っているため、同種と
区別するのが非常に難しく、幼虫では区別できないようです(成虫の陰茎で区別するそうです)。
こちらは、比較的大きな河川でも確認できるようなので、今回緑化センターの平地溪流で見つかった
個体ということで、エルモンヒラタカゲロウとしています。(西村)



エルモンヒラタカゲロウ



エルモンヒラタカゲロウのエラ

小さな世界 こけ

アオシノブゴケ

今回はアオシノブゴケを観察してみましよう。

セン類のアオシノブゴケは、山の中の溪流のやや湿り気
のある岩や朽木の上、土の上などに生育しています。

よく似たコケに“トヤマシノブゴケ”、“ヒメシノブゴケ”があり
ますが、前者はやや乾いたところに、後者はよく湿った場所
に生育します。アオシノブゴケはその中間の環境の日陰地
に生育します。

茎は3回羽状し、主茎は長さ10 cm以上になります。

シノブゴケの仲間は、3種類の葉が見られますが、アオ
シノブゴケは、茎につく葉(茎葉)は長さ1.5 mmと大きく、ほ
ぼ卵形で、葉先は尖りますが、細長く伸びる透明な尖は
ありません。枝につく葉(枝葉)は茎葉よりずっと小さく、卵
形で先は尖っていますが葉先から伸びる透明な尖は
ありません。茎や枝の表面の毛葉と言われる、微小な毛の様な葉は
ほかよりに比べて少ないです。(山根)



アオシノブゴケ



研修会のご案内

- 11月 1日(火) 『松の手入れ(秋)』
秋の手入れについて学び、屋外で実習します
※要予約(先着 15名)、無料、剪定鋏、手のこ持参
10:00～12:00 学習室 集合
講師：NPO 法人 樹木医ひろしま
工藤 徹
- 11月 3日(木・祝) 『どんぐりを見分けよう』
どんぐりを集めて種類を見分けます
※自由参加(随時受付)、無料
10:00～15:00 レストハウス前 集合
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧
- 11月 3日(木・祝) 『ネイチャーゲーム』
さまざまな自然の遊びを体験しましょう
※自由参加(随時受付)、無料
10:00～15:00 レストハウス前 集合
講師：広島市シェアリングネイチャーの会
トレーナー 住吉 和子
- 11月 10日(木) 『秋の写真教室』
紅葉や秋の植物の撮影を学びましょう
※要予約(先着 15名)、無料、カメラ持参
10:00～12:00 学習室 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭
- 11月 11日(金) 『11月の自然探勝』
秋の植物を観察します
※自由参加、無料、ルーペ持参、荒天中止
10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男
- 11月 11日(金) 『「実とたねの世界」』
実とたねについて学びます
※自由参加、無料、ルーペ持参
13:30～15:30 学習室 集合
コーディネーター：森林インストラクター
駄賀 恒男
- 11月 23日(水・祝) 『剪定基本マスター講座』
※要予約(先着 15名)、剪定鋏、手のこ持参、見学不可
10:00～12:00 学習室 集合
講師：樹木医
難波 正孝

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、
参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。
また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。
ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

もみじ祭り お楽しみイベント 11月3日(木・祝) 10:00～15:00 場所：レストハウス前
紅葉クイズラリー、ノルディックウォーク、草花販売、キッチンカー

もみじ祭り 2022 ～11月13日(日)

ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2022 秋 ～11月13日(日)

**第6回ひろしま遊学の森
四季の移ろい写真コンテスト** 応募締め切り 11月30日(水)
応募作品はひろしま遊学の森で撮影されたもの 一人3作品まで

Instagram フォトコンテスト 2022 秋 ～11月30日(水)

◎ 展示会

場所：レストハウス
(ボード展示)

第12回ひろしま遊学の森

子ども写生大会作品展

11月13日(日)～12月8日(木)

